

みずほマーケット・トピック(2022年11月15日)

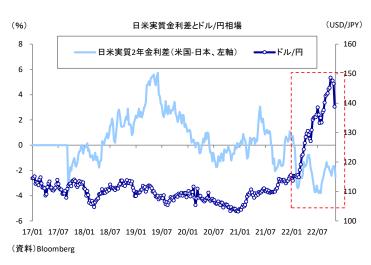
実質ベースで考えるドル/円相場のオーバーシュート

ドル/円相場は 140 円付近で膠着状態。12 月 FOMC が近づくにつれて FRB の情報発信に神経質な反応を示す地合いが続きそうだが、目先の相場動向に一喜一憂するのではなく、「なぜ、2022 年にここまでの円安が起きたのか」を真剣に考えるべき。それを突き詰めるほど、金利差だけで説明することの難しさを感じる。例えば実質金利で見れば、日本は米国よりも高い状況が続いているが、それでも「名目ベースで見た米金利の上昇」を理由に円売りが駆動されてきたのが 2022 年である。理論的には尊重されるべき実質金利の議論を脇に置きつつ、名目金利の話題だけで 40 円弱も円安が進んだと考えるのはさすがに無理がある。やはり貿易赤字や直接投資の拡大が円相場の構造を変化させており、それが 2022 年の特殊な環境の下で浮き彫りになったという話に思える。ドル/円相場を実質化してみると、足許の動きはオーバーシュートの可能性が確かにある。とはいえ、名目ベースで 100 円や 110 円の世界に戻る未来は想像しづらい。

~実質ベースでは「円金利>米金利」~

ドル/円相場は140円付近で膠着状態に陥っている。昨日はウォラーFRB 理事が相場に大変動をもたらした米10月消費者物価指数(CPI)について「(伸び率鈍化は)良いニュース」としながらも、利上げ停止までにはまだ距離があることを強調した。こうした情報発信もあってか、ドル/円相場の下げ基調も一服している。過去の本欄でも論じた点だが、市場予想比で0.2%ポイント程度の乖離(今回は前年比+7.9%予想に対して実績は同+7.7%)は経済指標の発表においてよくある話であり、大きな市場反応は今後、FRBの情報発信を介して少しずつ修正が図られていくのではないか。12月 FOMCの利上げ幅が+50bpに縮小されること自体は新味のあるニュースとは言えず、むしろ+50bpが+25bpになった後、どれほどその時間帯が続くかに注目したい。

繰り返しになるが、目先の相場動向に 一喜一憂するのではなく、「なぜ、2022 年 という年にここまでの円安が起きたのか」 を真剣に考えるべきである。それを突き詰 めるほど、<u>金利差だけで説明することの難</u> しさを感じる。例えば株式市場では実質 金利の高低に着目した議論が盛んであ る。実質金利が低下したから株価が上が り、上昇したから株価が下がるといった解 説は過去1年で相当繰り返されている。こ の実質金利に限って言えば、日本は米国



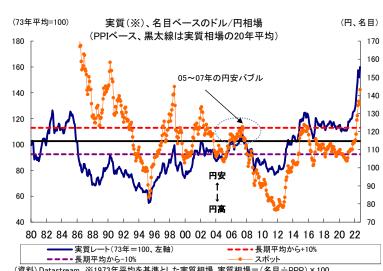
よりも高い状況が続いている。それでも「名目ベースで見た米金利の上昇」を理由に円売りが駆動

2022年11月15日

されてきたのが 2022 年という年なのである。名目と実質、どちらが絶対に適切だと断じるつもりはな い。もちろん、理論的には実質ベースの議論が適切だが、市場参加者が名目ベースの議論に着 目する以上、ドライバーは名目ベースである。しかし、実質ベースでは「日本の方が高い」という理 論的に正しい事実を脇に置きつつ、名目金利の話題だけで 40 円弱も円安が進んだというのだろう か。さすがに無理があるように思う。

~実質ドル/円相場のオーバーシュートについて~

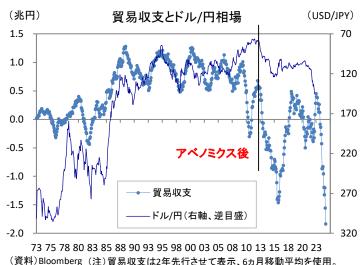
図はドル/円相場を 1973 年を基準と して企業物価指数(PPI)で実質化した 場合の推移を見たものである。歴史を 振り返っても実質ドル/円相場が長期平 均から+10%以上の上方乖離を続ける ことは稀であり、例えば円安バブルと呼 ばれた 2005~07 年はちょうど+10%程 度を上限として円安から円高に転じて いる。それ以前の時代(2000~05 年 頃)は長期平均を上限、▲10%を下限 とするような推移が続いていた。また、 2013 年以降、アベノミクスの名の下で



(資料) Datastream ※1973年平均を基準とした実質相場, 実質相場=(名目÷PPP)×100

量的・質的金融緩和(QQE)を筆頭にリフレ政策が展開された局面では一時的に+10%を突破し、 それ以降、2021年初頭までは+10%前後というのが1つの落ち着きどころになってきた。

それが2021年中頃には+15%、2021年 終盤には+20%を超え、2022 年春には +30%、そして 9 月には+60%弱に達して いる。さすがにそこまで日米経済の構造 が非連続的に変化したとは考えにくく、9 月以降の円相場の動きがオーバーシュー トである疑いは確かにある。しかし、2013 年以降、それまで上限のように機能して いた「長期平均+10%」が実質ドル/円相 場の落ち着きどころになり、2021年以降、 さらに上離れする動きが見られたことを受 けて「2013 年以降の 10 余年で日本経済



(資料)Bloomberg (注)貿易収支は2年先行させて表示、6ヵ月移動平均を使用。

は構造変化を経験しているのかもしれない」と考えるのは普通の分析態度だろう。筆者は端的に貿 易黒字の消滅と直接投資の急拡大がその背景ではないかと考える。図示するように、ちょうど 2012 ~13年頃を境として貿易黒字が稼げなくなっている。

今後、実質ドル/円相場が円高方向へ修正するには①名目相場が円高に進む、②日本の物価 が相対的に米国より上昇する、③もしくはその両方が必要になる。②が考えにくいとすれば①の経

2022年11月15日 2 路を検討することになる。実質ドル/円相場のオーバーシュートが名目ドル/円相場の円高・ドル安だけで調整すると仮定した場合、115 円まで下落しても+25%、110 円でも+20%、100 円でようやく+10%という上方乖離のイメージになる。しかし、現時点で 100 円や 110 円までの円高・ドル安を期待する市場参加者はもはや稀有だろう。実質ベースの議論を冷静に吟味するほど、名目ドル/円相場の水準感が過去 1~2 年で見たような 100~110 円のレンジ感に戻るのは相当困難になっていることは認めざるを得ないように思えてくる。

市場営業部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2022年11月15日 3

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

2022年11月1日	http://www.mizuhobank 発行年月日	.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html 過去6か月のタイトル
2022年19月1日		
2002年11月10日		
2002年11月4日 コーロ機能消の性 別について ベスタアルー リンの語 一		
2022年10月2日		
2002年10月3日 選手版で応収装電車事を発表で、中級関係の整有性が助わる状態につ		
2022年1月7日		
2022年10月3日		
2002年10月3日 屋前原とアンダメンガルズー用品を利用品と対策高温~		
2002年19月1日 選手版「中沙になった中の前田・30月刊度で保証さかった 2002年19月1日		
2002年10月10日 大部大河南本上総合では、1002年10月分 大部の大田東の東京学の大田	2022年10月24日	圧倒的なファンダメンタルズ〜円高は押し目という新常識〜
本が日人日産家の女が発生プロー語(2022年9月分) 2022年10月18日 トラス東の作の企画を加工を輸出した中部のアラームー 2023年10月18日 トラス東の作の企画を加工を輸出した中部のアラームー 2023年10月18日 「お供き事業を受けて、2023年最後日 2023年10月19日 「表現から相談な友」なり月後末の表生力の基本 2023年10月19日 「表現から相談な友」なり月後末の表生力の基本 2023年10月19日 「表現から相談な友」なり月後末の表生力の基本 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能をある。」 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能をある。」 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能をある。」 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能をある。」 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能制力の条件を表現を設定していた。 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能制力の条件を表現を設定していた。 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能制力の条件を表現を設定していた。 2023年10月19日 「世界東北のの対象機能制力の条件を表現を表現を表現 2023年9月19日 「世界・大きな人民産を表現が大きな事業」の連携を表現を表現 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業権を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象業権を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象素を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象素を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象素を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象素を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象素権を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の対象を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の主意を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の主意を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の主意を表現の同業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の主意を表現の同業を表現する。」 2023年9月19日 「大きな人民産業の主意な力が、この実に関係を表現の同業を表現の一定の主意を表現の同業を表現の同業を表現の同業を表現の同業を表現の一定の主意を表現の同業を表現の一定の主意を表現の同業を表現の表現の主意を表現の同業を表現の主意を表現の同業を表現の同業を表現の主意を表現の同業を表現の表現の主意な人民産業の主意な人民産	2022年10月21日	週末版(半分になった円の価値~150円到達で何を思うか~)
本部個人投資家の別外哲学力一動性(2022年0月分)	2022年10月19日	天然ガス価格上限設定について~史上最も厳しい冬~
2022年10月1日		
2022年10月12日	2022年10月18日	
2022年9月12日 選集版		
2022年9月12日		
2022年19月1日		
2022年10月18日		
2022年10月4日		
2022年19月4日		
2022年19月3日		
2022年9月37日 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大		
902年9月2日 選末版		
2022年4月27日		
2022年9月28日 満天版「企助会教育人「商品上は「労政法」という意義な影性 2022年9月19日 満天版「企助会教育人「何または「労政法」生きの更素体へ) 2022年9月19日 満天版「企助会教育人「何または「労政法」生きの更素体へ) 2022年9月19日 満天版「企助会教育人「何または「労政法」生きの更素を) 2022年9月19日 満天版「企助会教育人「何また」を) 2022年9月19日 満ま版「企成を) 2022年9月21日 満ま版「企成を) 2022年9月21日 満ま版「企成を) 2022年9月21日 満ま版「会成会」と) 2022年9月21日 満ま版「会成会」と) 2022年9月21日 満ま版「会成会」と) 2022年9月21日 満ま版「会成会」と) 2022年9月19日 第ま版「会成会」と) 2022年9月19日 第ま版「会成会」と) 2022年9月19日 第ま版「会成会」と) 2022年9月19日 第ま版「会成会」と) 2022年9月19日 2		
2022年9月19日 選集版 (FOMO を終えている)		
2022年9月19日 世紀を香・切れらのか・核馬、酢電路か~ 2022年9月19日 選友版 2022年9月19日 2022年1月19日		
2022年9月19日 書景版 大学個人投資家の対外資金クロ一動向(2022年9月19日 大学個人投資家の対外資金クロ一動向(2022年9月19日 大学個人投資家の対外資金クロー動向(2022年9月19日 対しての日本部が小の可能性 2022年9月19日 対しての日本部が小の可能性 2022年9月19日 対している日本部が小の可能性 2022年9月19日 対している日本部が小の可能性 2022年9月19日 対している日本部が小のからに 2022年9月19日 対している日本部が小のからに 2022年9月19日 対している日本部が小のからに 2022年9月2日 対している日本部が小のからに 2022年9月2日 20		
2022年9月19日 本野瓜人投資型の分外 預念 202 本 3月分		
四文型とより13日 類似意変形でよどの他の場合 2022年9月19日 過末版(区の政策理事会を終了の大力・140円合業機を到する。 2022年9月9日 週末版(区の政策理事会を終了で、スタクフレーションとの類いに規むECB~) 金利差が不知いた。 2022年9月9日 週末版(区の政策理事会を終了で、スタクフレーションとの類いに規むECB~) 2022年9月9日 週末版(区の政策理事会を終了・イルワート) 2022年9月9日 週末版(日本の政策理事会を終了・イルワート) 2022年9月9日 週末版(日本の政策理事会を終了・イルワート) 2022年9月2日 週末版(日本の政策理事会を終了・イルワート) 2022年9月2日 週末版(日本の政策理事会を終了・イルワート) 2022年9月2日 週末版(日本の政策の関係・関係をいましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし		
2022年9月19日 無限放棄終了よその他の課題 2022年9月19日 無念世で素が間門の外質を設しても、19年10年 19年10年 19年	2022年9月15日	
2022年9月18日 熱き出す家計部門の外度運用・金融教育の先に~ 2022年9月19日 選末版で伝数東望母会を発生、マスタグワレーションとの難いに終むECB~ 2022年9月19日 選末版で伝数東望母会を発生、マスタグワレーションとの難いに終むECB~ 2022年9月19日 2022年9月21日 2022年9月22日 2022	0000 = 0	
2022年9月9日 週末版(CGB政策理事会を終えてヘスタヴリーンコンとの関いに触れEGB~)		
2022年9月3日 大学		
2022年9月8日 / ルドストリーム1の無限経験とユーロ安		
2022年9月8日 円支更新はどこまで核へのか~140円含変線を使けて~ 2022年8月28日		
2022年8月20日		
2022年8月29日 シャケントボール経済シンがジウムを受けて 2022年8月21日 漫水族(安全 放保済の製体・活めないエネルギー供給とドイツのリセッションリスタ〜) 2022年8月21日 の2022年8月21日 関帯になる傾回放棄の副所用 2022年8月21日 の2022年8月18日 過去版 2022年8月18日 過去版大を更新し続ける貿易赤字 2022年8月18日 の2022年8月16日 木料配人投資家の分外大資金フー助向(2022年月分) 2022年8月16日 大料配人投資家の分外大資金フー助向(2022年月分) 大料ルーの月内の日本 地域がの「コロナ前」回復へ 2022年8月16日 大料配人投資家の分外大資金フー助向(2022年月分) 大料ルーの月内の日本 地域がの「コロナ前」回復へ 2022年8月16日 地域が、1000年8月21日 週末版(2022年8月17日 理末版 2022年8月10日 独才により、1000年8月21日 週末版(2022年8月17日 日本産権の関係というよりの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		
2022年4月26日 未実施での無利の評価では続かないエネルギー供給とドイツのリセッションリスタ〜 2022年4月28日 大学に関係している問題に上限ではない〜 2022年4月19日 3022年4月19日 3022年4月19日 3022年4月19日 3022年4月19日 3022年4月19日 3022年4月17日 生産者物価指数のPDIと交易条件と円相増 2022年4月17日 生産者物価指数のPDIと交易条件と円相増 2022年4月17日 2022年4月17		
2022年8月2日		
2022年5月19日 週末版 2022年5月19日 週末版 2022年5月19日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月29日 2022年7月21日 20		
2022年3月18日 過去最大を更新に続ける貿易素字 2022年3月18日 過去最大を更新に続ける貿易素字 2022年3月18日 過去最大を更新に続ける貿易素字 2022年3月16日 本邦組へ及資家の対外意全フロー動向(2022年7月分) 本邦組へ及資家の対外意全フロー動向(2022年7月分) 本邦組へ及資家の対外意全フロー動向(2022年7月分) 本邦組へ及資家の対外意全フロー動向(2022年7月分) 2022年3月19日 2022年3月21日 本邦は、メー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2022年9月19日 選末版		
2022年9月18日 由去最大を更新、続ける貿易赤字 2022年9月18日 本邦億人投資家の対外資金プロー動向(2022年7月分) 本邦他・公月銀口PP・		
2022年5月17日 生産者物価指数(PPI)と交易条件と円相類 2022年5月15日 大都4〜6月期60P~粉ばかりの「コロナ前」回復~ 2022年5月15日 対策なに不及の第にペーライン川の水位低下~ 湖東版 2022年5月18日 対策ない。 2022年5月18日 対策ない。 2022年5月18日 対策ない。 2022年5月18日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年5月5日 対策ない。 2022年7月29日 対策ない。 2022年7月30日 と日は7月・500-対上げに舵をひらのか 2022年7月19日 対策ない。 2022年7月3日 対策ないない。 2022年7月3日 対策ないない。 2022年7月3日 対策ないない。 2022年7月3日 対策ないないのがいるいないないのがいるいないないないないないないないないないないないないないないないないないない		
2022年3月15日 本邦億人投資家の対外資金プロ一動向(2022年1月分)		
# 本邦本・の月期GDP~形はかりの「コロナ前」回復~ 2022年8月19日		生産者物価指数(PPI)と交易条件と円相場
2022年5月15日 独長がは下次の測にペライン川の水位低下と一口型リスク 2022年5月10日 独ライン川の水位低下と一口型リスク 2022年5月10日 独大版(バー)円指導の近次をとう考えるか~歴史的な大相場は調整も非常に大きい~) 2022年5月5日 温末版(メーの円物場の近次をとう考えるか~歴史的な大相場は調整も非常に大きい~) 2022年7月21日 温末版(米ーの月間のDPの読み方・ソセッション制制は商卓~) 2022年7月21日 別水版(メーの日間の記念がカーソセッション制制は商卓~) 2022年7月21日 別水版(大の日間の記念がカーソセッション制制は商卓~) 2022年7月21日 (日間は7月500ヵ日11ビアの変をのか) 2022年7月21日 (日間は7月500ヵ日11ビアの変を)カーソロンのよりに対し、変性のクロンのよりに対し、変性のクロンのよりに対しています。 (リーのでは、ターの日間のでは、ターの日間のでは、ターの日間のでは、ターの日間のでは、ターの日間に対しています。 (リーのでは、ターのアルーのアルーのでは、ターのアルーのアルーのアルーのアルーのでは、ターのアルーのアルーのアルーのアルーのアルーのアルーのアルーのアルーのアルーのアル	2022年8月16日	
2022年8月12日 週末版 2022年8月9日 2022年月半期の国際収支統計を受けて 2022年8月8日 10日		
2022年8月8日 1922年半月8日 2022年1年第90日 2022年1月8日 2022年8月8日 2022年8月8日 2022年8月8日 2022年8月8日 2022年7月2日 20		
2022年8月9日 2022年上半期の国際収支統計を受けて 2022年8月9日 2022年7月29日 2022年7月29日 3末版(ドル/円相場の近況をどう考えるか〜歴史的な大相場は調整も非常に大きい〜) 2022年7月29日 MTM実経済見過、(7月改定)を受けて 2022年7月29日 MTM実経済見過、(7月改定)を受けて 2022年7月29日 MTM実経済見過、(7月改定)を受けて 2022年7月29日 MTM実経済見過、(7月改定)を受けて 2022年7月29日 EOB は7月5000利上げた配を切るのか 2022年7月29日 とOB は7月5000利上げた配を切るのか 2022年7月19日 本類優人投資家の対外資金フロ一動的(2022年6月分) 週末版(エクロ関係をとつ中間が 2022年7月19日 本類優人投資家の対外資金フロー動的(2022年6月分) 週末版(上の地では、2022年7月19日 本類優人投資家の対外資金フロー動的(2022年6月分) 2022年7月19日 本類優人投資家の対外では、2022年7月19日 本類優人投資家の対外では、2022年7月19日 フロ関係をとユーロ相場の展望・ユーロ安でてこずるインフレ抑制へ) 2022年7月19日 果成(上地)販を出し始めた新規を考主義 2022年7月19日 現ま版(世間に効き始めた物価上昇圧力・口組がスケーブゴートにされる可能性〜) 2022年7月1日 現外の労革機がの学者を増化の歴史開係はなしへ 2022年7月1日 現外の労革機が成プ・22年3月末時点 2022年7月1日 現外の労革機が表でよるにおいまればより重要なこと 2022年7月1日 東京後(生物に効を対したが、22年3月末時点~2022年7月1日 果成(生の)の中降上と域内債券グルーブ化構想~遂に始まる加盟国の階層化〜) 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか、222年3月末時点~2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか、222年3月末時点~2022年6月21日 異版(生のの)の中降上と域内債券グルーブル構想~遂に始まる加盟国の階層化〜) 2022年6月21日 異版(とOB緊急政策理事会会が大の落ち着かないラガルド流〜) 「トル高の暴返し」とは高い初れない円安の近況 2022年6月21日 異版後(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月16日 表版(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 異成後(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 異成後(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 要請を(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 要請を(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 要請を(EOB緊急政策理事会の表が大の落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月1日 要請を(EOB緊急政策理事会の表が大の流が、2022年6月1日 悪態後(EOB緊急政策理事会の表が大の流が、2022年6月1日 悪態経済の継続はリガルジにの意味が、2022年6月1日 悪態を経過などので、2022年6月1日 悪態を経過などので、2022年6月1日 悪態を変してかった。2022年6月1日 悪態を経過などので、2022年6月1日 悪態を変してかった。2022年6月1日 悪態を変してからなどのでは、2022年6月1日 悪態を変してからなどのでは、2022年6月1日 悪態を変してからなどのでは、2022年6月2日 要は、2022年6月2日 理様を表しているがでは、2022年6月2日 要は、2022年6月2日 要は、2022年6月2日 要は、2022年6月2日 要なが、2022年6		
2022年8月8日 国版 (ドル) 円相等の近況をごう考えるか。歴史的な大相場は調整も非常に大きい〜) 2022年7月27日 週末版 (米4~6月期 GDPの読み方〜リセッション判断は尚早〜) 2022年7月27日 MP世 界接界見通し (7月改定)を受けて 2022年7月27日 週末版 (12日改定)を受けて 2022年7月19日 日本版 (12日改定)を受けて 2022年7月19日 日本版 (12日改定)を受けて 2022年7月19日 日本版 (12日改定)を受けて 2022年7月19日 イゾナイ制れの背景整理・歴史に学ぶ教訓〜 2022年7月19日 本組入投資家の対外資金フーー動前 (1022年6月分) 2022年7月19日 本地風人投資家の対外資金フーー動師 (2022年6月分) 2022年7月1日 マンル加速も住宅市況には変調の兆しも 2022年7月1日 フンル加速も住宅市況には変調の兆しも 2022年7月1日 フンル政策の今後~差報との因果関係はない〜 2022年7月1日 ユーロ相場急寒の背景〜EEGR1ト派化より重要なこと〜 2022年7月1日 ユーロ相場急寒の背景〜EEGR1ト派化より重要なこと〜 2022年7月1日 世界の外資準備状況〜22年3月末時点〜 2022年7月1日 世界の外資準備状況〜22年3月末時点〜 2022年7月1日 世界の外資準備状況〜22年3月末の状況〜 2022年6月28日 世界が近年の大学・ビル内保券がループし作標型〜遂に始まる加盟国の階層化〜) 2022年6月28日 世界は通貨高競争へ〜逆・近隣耐乏化策の始まり〜 2022年6月21日 世界は通貨高競争へ〜逆・近隣耐乏化策の始まり〜 2022年6月21日 世界は通貨高競争へ〜逆・近隣耐乏化策の始まり〜 2022年6月21日 野州版に区野発放政策理事会を放表で、カンボンラガルド流〜) 2022年6月10日 類版に区野発放政策理事会を放表で、カンボンラガルド流〜) 2022年6月11日 表版版に区野発放政策理事会を放表で、カンボンラガルド流〜) 2022年6月11日 表版版に区野発放政策理事会を放表で、カンボンラガルド流〜) 2022年6月11日 表版版に区野政策政策理事会を決まっか。落ち赤ないラガルド流〜) 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈事るかか、プロトス・カーボン・フルの未来 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈事るか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のい〜 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレの経済と変質のいへ 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか・リアレのによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに		
2022年7月29日 週末版(ドルー日報場の近次をどう考えるか・歴史的な大相場は調整も非常に大きい〜) 2022年7月27日 MF世界経済見通し(7月改定)を受けて		
2022年7月29日 湖末版(米ペ-6月期のDPの読み方〜リセッション判断は尚早〜) 2022年7月25日 ドル/円積場の近況をどう評価するか? 2022年7月20日 図末版(ECBB英国連入ビノ月改定)を受けて ドル/円積場の近況をどう評価するか? 2022年7月20日 図ま7月-550時期上げに舵を切つるのか 2022年7月19日 バリティ割れの背景整理〜歴史に学ぶ教訓〜 2022年7月19日 スチェールの背景を発えて、前門のインフレ、後門のリセッション、TPIという二番煎じ〜) 2022年7月19日 パリティ割れの背景整理〜歴史に学ぶ教訓〜 2022年7月19日 メインフル加速仕住宅市辺には変調の別しも 2022年7月19日 メインフル加速仕住宅市辺には変調の別しも 2022年7月11日 ソフル政策の今後〜影報との及果関係はない〜 2022年7月11日 リフル政策の今後〜影報との及果関係はない〜 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及果関係はない〜 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及果関係はない〜 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及果団条にインブートにされる可能性〜) 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及東団事会〜 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及東団事会へ 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影報との及東団事会へ 2022年7月1日 リフル政策の今後〜影響との展別を重要なこと〜 2022年7月1日 関東版(世間に効き始めた物価上昇圧力〜日銀がスケーブゴートにされる可能性〜) 2022年7月1日 関東版(立場の計画を対していたドイツ〜緊急政策理事会へ 2022年7月1日 関東版(全日の外)賃準低状況〜22年3月末の状況〜 2022年6月21日 関東は協資産は動き出すか〜22年4月末の状況〜 2022年6月21日 関東版(ECBW島政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月21日 カ・ハト両面を演しるECB〜難しいナローバス〜 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演しるECB〜難しいナローバス〜 2022年6月21日 カ・ハト両面を演しるECB〜難しいナローバス〜 2022年6月11日 別末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月11日 別末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月16日 別末版(ECB股策政策事会を終えて〜利上付幅拡大も示唆〜) 2022年6月16日 日から受けのごともたる「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月18日 関末版(ECB政策理事会を終えて〜利上付幅拡大も示唆〜) 2022年6月18日 関末版(ECB政策理事会を終えて〜利上付幅拡大も示唆〜) 2022年6月18日 関末版(ECB政策理事会を終えて〜利上付幅拡大も示唆〜) 2022年6月18日 関末版(ECB政策理事会を終えて〜利上付幅拡大も示唆〜) 2022年6月18日 関末版(ECB政策理事会を終えて〜利に対すが対すが関連の対すを持定との対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対すが対		
2022年7月22日 MF世界経済見通し(7月改定)を受けて		
2022年7月25日 ドル/円相場の近況をどう評価するか? 2022年7月22日 週末版 (ECB 政策理事会を終えて一前門のインフレ、後門のリセッション、TPIという二番煎じ~) 2022年7月29日 ECB は7月-500ヶ利上げ上舵を切るのか 2022年7月19日 オリティ割んの背景整理~歴史に学ぶ教訓~ 2022年7月19日 本邦個人投資家のが対策金プロ一動向(2022年6月分) 週末版(ユーロ圏景気とユーロ相場の展望~ユーロ安でてこずるインフレ抑制~) 2022年7月12日 やはり節を出し始めた新規感染者主義 2022年7月11日 ソフレ政策の今後~悲報との因果関係はなし~ 2022年7月18日 現末版(世論に対き始めたり物画と見圧かーの目録がスケーブゴートにされる可能性~) 2022年7月7日 ユーロ相場の展望・ユーロ母の展望~ユーロ安でで2022年7月7日 ユーロ相場の展望・スケーブゴートにされる可能性~) 2022年7月7日 ユーロ相場の第の背景・ECB・バ・派化より重要なこと~ 2022年7月7日 ユーロ相場の第の背景・ECB・バ・派化より重要なこと~ 2022年7月7日 世界のが資準値状況~22年3月末の状況~ 2022年7月7日 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グルーブ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 世界は通貨高観撃・ム・逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月27日 世界は通貨高観撃へ・逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月27日 世界は通貨高観撃へ・逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月21日 タケ・ハ・両面を演じるECB・難しいナロー・バス~ 2022年6月21日 タケ・ハ・両面を演じるECB・難しいナロー・バス~ 2022年6月21日 タケ・ハ・両面を演じるECB・難しいナロー・バス~ 2022年6月21日 現末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月1日 選末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月1日 選末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月1日 選末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月1日 選末版(ECB緊急政策理事会を終えて・利上は7年版大も示唆~) 2022年6月1日 2022年6月2日 2022年6月3日 2022年6月3日 2022年6月3日 2022年6月3日 2022年6月3日		
2022年7月20日 週末版 (ECB版策理事金を終えて〜前門のインフレ、後門のリセッション、TPIという二番煎じ〜) 2022年7月19日 CB は7月+50cp 利上(げに舵を切るのか		
2022年7月19日 ECB は7月-50bo利上げに舵を切るのか		
2022年7月19日		
2022年7月15日 本邦個人投資家の対外資金フロ一助向(2022年6月分)		
2022年7月14日 米インフレ加速も住宅市況には変調の氷しも 2022年7月18日 パレリ頻を出し始めた新規修発者主義 2022年7月18日 リフレ政策の今後〜悲報との因果関係はなし〜 2022年7月18日 リフレ政策の今後〜悲報との因果関係はなし〜 2022年7月7日 コーロ相場の養命の背景〜亡民の大小派により重要なこと〜 2022年7月7日 コーロ相場の素がのより音楽の大学とは対していたドイツ〜緊急政策理事会〜 2022年7月7日 世界の外貨準備状況〜22年3月末時点〜 2022年7月1日 世界の外貨準備状況〜22年3月末時点〜 2022年7月1日 世界の外貨準備状況〜22年3月末の状況〜 2022年7月1日 世界は、2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか〜22年3月末の状況〜 2022年6月28日 京計金融資産は動き出すか〜22年3月末の状況〜 2022年6月24日 世界は、2022年6月24日 世界は、2022年6月24日 世界は、2022年7月4日 世界は、2022年6月24日 ロットルトーの大会を表して、2022年6月24日 アトル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月24日 タか・ハト両面を演じるECB〜難しいナローバス〜 2022年6月21日 タか・ハト両面を演じるECB〜難しいナローバス〜 2022年6月10日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月10日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月11日 悪惨損数を感じなかった日本人 2022年6月11日 悪惨損数を感じなかった日本人 2022年6月11日 悪惨損数を感じなかった日本人 2022年6月11日 悪惨損数を感じなかった日本人 2022年6月11日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質の10〜 2022年6月1日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質の10〜 2022年6月1日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質の10〜 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月1日 医CB政策理事会プレビュー〜サブライスがあるとすれば〜 2022年6月3日 選末版(旅行収支と円租場の需給〜制限ありきではインパウンドの影響なし〜) 2022年6月3日 選末版(旅行収支と円租場の需給〜制限ありきではインパウンドの影響なし〜) 2022年6月3日 図末版(旅行収支と円租場の需給〜制度の表分、利はではインパウンドの影響なし〜) 2022年6月3日 図末版(旅行収支と円租場の需給〜制度の表分、利はの表とすれば〜		
2022年7月14日 米インフレ加速も住宅市沢には変調の兆しも 2022年7月11日 フレ政策の今後~悲報との因果関係はなし~ 2022年7月18日 週末版(世論に効き始めた物価と昇圧力~日銀がスケーブゴートにされる可能性~) 2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECBハド派化より重要なこと~ 2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECBハド派化より重要なこと~ 2022年7月4日 世界の外貨準備状況~22年3月末時点~ 2022年7月4日 世界の外貨準備状況~22年3月末時点~ 2022年7月1日 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グループ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月24日 週末版(ECB緊急政策理事金の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月21日 夕か・ハト両面を演じるECB~難しいナローバス~ 2022年6月21日 夕か・ハト両面を演じるECB~難しいナローバス~ 2022年6月10日 疑似的な通貨危機の採相を呈する日銀運営 2022年6月10日 基本版(EOB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 表を指数を感じなかった日本人 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大未示唆~) 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月6日 ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月6日 三日の業権はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 三日の職権はトリプルタに~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプルタに~参院選と金融市場~ 2022年6月3日 図末版(旅行収支と日相場の需給~制限ありきではインパウンドの影響なし~) 2022年6月3日 図末版(旅行収支と日相場の需給~制限ありきではインパウンドの影響なし~) 2022年6月3日 31年連続「世界最大の対外裁資産国」の読み方	2022年7月15日	
2022年7月12日 やはり顔を出し始めた新規感染者主義 2022年7月1日 リフレ政策の今後 ※ 糖製との因果関係はなし~ 2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECB/Nト派化より重要なこと~ 2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECB/Nト派化より重要なこと~ 2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECB/Nト派化より重要なこと~ 2022年7月1日 世界の外 貨産機成況~222年3月末時点~ 2022年7月1日 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グループ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 憲計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月28日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣第乏化策の始まり~ 2022年6月21日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣第乏化策の始まり~ 2022年6月22日 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月22日 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB~難しいナローバス~ 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB~難しいナローバス~ 2022年6月11日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 現版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 現本版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 現本版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 現ま版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月11日 現ま版(ECB緊急政策理事会の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表		
2022年7月1日		
2022年7月8日 週末版(世論に効き始めた物価上昇圧力~日銀がスケーブゴートにされる可能性~)		
2022年7月7日 ユーロ相場急落の背景~ECBハト派化より重要なこと~ 2022年7月4日 世界の外貨準備状況~22年3月末時点~ 2022年7月1日 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グループ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月27日 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス~ 2022年6月12日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス~ 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 地野位のな通貨危機の様相を呈する日銀運営 2022年6月17日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月18日 生物性数を感じなかった日本人 2022年6月18日 生物が数を感じなかった日本人 2022年6月19日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月19日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月19日 要素経済の準続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 変音とフルビュー~サプライズがあるとすれば~ 2022年6月1日 変容しつつあるユーロ書物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年7月5日 やはり反対していたドイツ〜緊急政策理事会〜 2022年7月1日 世界の外貨準備状況〜22年3月末時点〜 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか〜22年3月末の状況〜 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ〜逆・近隣窮乏化策の始まり〜 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ〜逆・近隣窮乏化策の始まり〜 2022年6月24日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス〜 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス〜 2022年6月11日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月11日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月16日 素が個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて〜円安地合いは固まるばかり〜 2022年6月18日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月19日 北参与数を感じなかった日本人 2022年6月19日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質の日〜 2022年6月19日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質の日〜 2022年6月19日 霊利が説明力を持ち始めているか〜133円台を受けて〜 2022年6月19日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月19日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月19日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月19日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月19日 要素とのつかるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年6月19日 変をしつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年7月4日 世界の外貨準備状況~22年3月末時点~ 2022年7月1日 週末版(2年95りのAPP停止と域内債券グルーブ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月22日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB~難しいナローパス~ 2022年6月21日 タか・ハト両面を演じるECB~難しいナローパス~ 2022年6月21日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月19日 選末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げを拡大も示唆~) 2022年6月1日 要請経済の継続はトリプルの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明カを持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月8日 日の設策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月1日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年6月1日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月28日 週末版(2年9ぶりのAPP停止と域内債券グループ化構想~遂に始まる加盟国の階層化~) 2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月24日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月22日 ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB~難しいナローパス~ 2022年6月20日 疑似的な通貨危機の様相を呈する日銀運営 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月13日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 選出発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月1日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月28日 家計金融資産は動き出すか~22年3月末の状況~ 2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月24日 週末版 (ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月22日 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス~ 2022年6月20日 疑似的な通貨危機の様相を呈する日銀運営 2022年6月17日 週末版 (ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月18日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版 (ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月3日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月3日 図表版 (旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインパウンドの影響なし~) 2022年6月3日 変をしつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		世界の外貨準備状況~22年3月末時点~
2022年6月27日 世界は通貨高競争へ~逆・近隣窮乏化策の始まり~ 2022年6月24日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 「ドル高の裏返し」とは言い切れない円安の近況 2022年6月21日 タか・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス~ 2022年6月21日 翅末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月1日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月24日		
2022年6月21日		
2022年6月21日 タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス〜 2022年6月20日 疑似的な通貨危機の様相を呈する日銀運営 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の誘み方〜落ち着かないラガルド流〜) 2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて〜円安地合いは固まるばかり〜 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜利上げ幅拡大も示唆〜) 2022年6月10日 黒田発言をどう解釈するか〜リフレの終幕と実質GDI〜 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか〜133円台を受けて〜 2022年6月7日 要請経済の継続はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月1日 ECB政策理事会が表はトリブル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月1日 2022年6月1日 2022年6月1日 変をしつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月17日 提似的な通貨危機の様相を呈する日銀運営 2022年6月17日 週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~) 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月1日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月17日		タカ・ハト両面を演じるECB〜難しいナローパス〜
2022年6月16日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分) FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悪惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月16日 ECB政策理事会プレビュー~サプライズがあるとすれば~ 2022年6月17日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方	2022年6月17日	週末版(ECB緊急政策理事会の読み方~落ち着かないラガルド流~)
FOMCを終えて~円安地合いは固まるばかり~ 2022年6月14日 悲惨指数を感じなかった日本人 2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方	2022年6月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年5月分)
2022年6月13日 米5月CPIから予見される「円だけマイナス金利」の未来 2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月10日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利上げ幅拡大も示唆~) 2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サプライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインパウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月9日 黒田発言をどう解釈するか~リフレの終幕と実質GDI~ 2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリブル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サプライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月8日 金利が説明力を持ち始めているか~133円台を受けて~ 2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に~参院選と金融市場~ 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー~サブライズがあるとすれば~ 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給~制限ありきではインバウンドの影響なし~) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月7日 要請経済の継続はトリプル安に〜参院選と金融市場〜 2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー〜サブライズがあるとすれば〜 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給〜制限ありきではインバウンドの影響なし〜) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方	2022年6月9日	
2022年6月6日 ECB政策理事会プレビュー〜サプライズがあるとすれば〜 2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給〜制限ありきではインバウンドの影響なし〜) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月3日 週末版(旅行収支と円相場の需給〜制限ありきではインバウンドの影響なし〜) 2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年6月2日 変容しつつあるユーロ圏物価情勢の現状と展望 2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年5月31日 31年連続、「世界最大の対外純資産国」の読み方		
2022年5月2/日 週末版(ドル/円相場と埋論的な尺度について~もはや参考にしつらいPPPからの乖離~)		
	2022年5月27日	週本版(トル/